

授業概要

本授業では、マーケティングに関する理解を深めるため、外国専門書（英語）の精読を通じて読解力を養成することを目的とする。

テキストはマーケティングの大家である P.コトラーと K.L.ケラーの共著 “Marketing Management 15th edition” を用い、学生が毎回これを翻訳し、発表する講義とする。

授業計画

第1回	オリエンテーション（授業の進め方）
第2回	指定課題テキストを学生が翻訳の上、輪読
第3回	指定課題テキストを学生が翻訳の上、輪読
第4回	指定課題テキストを学生が翻訳の上、輪読
第5回	指定課題テキストを学生が翻訳の上、輪読
第6回	指定課題テキストを学生が翻訳の上、輪読
第7回	指定課題テキストを学生が翻訳の上、輪読
第8回	指定課題テキストを学生が翻訳の上、輪読
第9回	指定課題テキストを学生が翻訳の上、輪読
第10回	指定課題テキストを学生が翻訳の上、輪読
第11回	指定課題テキストを学生が翻訳の上、輪読
第12回	指定課題テキストを学生が翻訳の上、輪読
第13回	指定課題テキストを学生が翻訳の上、輪読
第14回	指定課題テキストを学生が翻訳の上、輪読
第15回	まとめ（総括）
第16回	筆記試験

到達目標

英語の文献翻訳を通じた読解力の養成。

履修上の注意

英語文献を用いた講義だが、“英語”の講義ではないので、マーケティングの内容を理解して翻訳できるかどうか重要である。英語が苦手でも、間違いを恐れず積極的に翻訳に挑戦する意欲ある学生に受講してもらいたい。毎回翻訳の課題があるので、課題に取り組んでこない学生や無断で遅刻・欠席する学生には厳しく対処する。辞書あるいは電子辞書は必ず毎回持参すること。忘れた学生の授業への出席は認めない。

受講希望の学生は必ず1回目の授業（オリエンテーション）に参加すること。

講義中の私語、携帯電話や音楽機器等の使用、食事は禁止する。

予習復習

輪読形式で発表してもらうので、予習は必須である。時間内に一定のボリュームの文章を翻訳できるよう、日頃から英語の文章を読む習慣をつけ、大意をつかむ練習をすること。

評価方法

出席状況、課題レポート、授業態度により総合的に判断し評価する。

テキスト

Philip Kotler and Kevin Lane Keller (2015) Marketing Management, 15th edition, Pearson Education, Ltd..

（課題は毎回配布する）